

国際SDGs賞

福井県立大野高等学校

JRC「結」

国内外ボランティアで世界と地域の問題に注目



「上田農園」里芋の芋茎加工場を訪ねた



「ベーカリーパナデリア」でスコーン生地生成中



東ティモール水支援チャリティー募金箱、ポスター作成の様子

**活動期間** 2019年4月～（40回ほど活動）

**構成人数** 高校生17名・大人1名

**SDGs  
テーマ**

<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>

## 推薦メッセージ

本校JRC「結」は、様々な地域課題の解決を目指し、国内外のボランティア活動に取り組んでいる団体です。ご高配いただければ幸いです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

**福井県立大野高等学校 校長 中森 雅巳**

# 活動内容

②地域を「つなぐプロジェクト」として、多世代の方と交流し伝統文化をつなぎ、地域活性化を行っている。今年は食と農に注目し「すこスコーン」という商品を開発した。

1. 多世代交流：お年寄りのスマホ操作サポート、障がい者施設の50周年祭ボランティア、子供虐待防止オレンジリボン運動、あしなが学生募金など、市内の様々な方々と交流している。



2. 伝統文化をつなぐ：少子高齢化やコロナ禍によって継承の危機にある地域の伝統「弓道」や「篠笛」を上世代から子どもへ継承するイベント「エキサイトウィーク」、「篠笛ステージ発表」などを行っている。

3. 「すこスコーン」開発：大野市の名産、里芋の芋茎を利用したエコな伝統食「すこ」を英国風スイーツにアップサイクルし、「シン・ふるさとスイーツ『すこスコーン』」を卒業生と協働して開発した。里芋の芋茎は通常なら廃棄される部分だが、栄養豊富である。食物繊維、カリウムが多く疲労回復に、アントシアニンを多く含むので目の疲れを癒し、デジタル時代にぴったりである。低迷する食の継承だけでなく、作物の廃棄削減、新銘菓として地域おこしに貢献している。

# 活動内容

①地域の強みを生かして「水」「繊維」で世界の困っている人々をボランティア活動で支援している。

1. 「名水」で東ティモールへ水支援：東ティモール山間部ではきれいな水が手に入りやすく、女性と子どもが毎日遠くまで水くみに歩く。このため多くの子どもは学校に通えず、女性は仕事に就けない。大野高生は毎年湧水を給水に利用した「名水マラソン」にボランティアやランナーとして参加、「東ティモールパネル展」も開催しチャリティーを行っている。「煌奏祭・歌チャリティー」でも募金を集めている。東ティモールの大使館や高校とオンラインで交流し、給水設備の管理費を支援している。

2. 「古着」でパキスタンへ教育支援：福井の繊維製品の提供を呼びかけている。JFSAを通してパキスタンへ送り、収益をスラム地区の学校「アル・カイルアカデミー」の運営に役立てている。現在までに107着を送付した。



3. 「エコキャップ回収」「古本市」で福祉支援：校内でペットボトルのキャップを回収している。年末に古本市を開催。職員や生徒から提供してもらっている。資源の再生・再利用と、福祉や途上国への医療支援、プラ再生過程では高齢者や障がい者の就労・自立支援に役立てている。

# 01.活動をはじめたきっかけ

## 全国高校総体のボランティアから 新たなエコ活動や支援を開始

「結」には人と人をつなぐ、遠くの地域と縁を結ぶ、という意味がある。ところが、2020年からのコロナ禍で課外活動は大きく制限され、校外で活動する機会が非常に少なくなった。何らかの形で人と交流し誰かの力になりたいと思っていたところに、2021年全国高校総体が福井県で開催された。ボランティアに参加した生徒らは大会終了後も活動を続けようと集まり、新たなボランティアやエコ活動を始めた。大野市役所や公民館の方も、お年寄りや障がい者支援のボランティア、多世代交流イベントに誘ってくださるようになった。

また、昨年の「ユース環境活動発表大会」中部大会がきっかけとなり「すこスコーン」を考案した。他県の高校生が廃棄される予定の食材や消費が低迷する伝統食材をアップサイクルし、地域おこしを行っていることを知った。それに触発され、自分たちの地域でも「すこ」というエコで栄養豊富な食材を未来へつなぐ活動を模索し始めた。



七間商店街ハロウィン×  
オレンジリボン街頭運動  
(子ども虐待防止啓発)

## 02.活動から学んだ・感じたこと

### 海外への支援や他校との交流で 新たな問題やアイデアを発見

地域の強み「私たちが豊富に持っているもの、余裕があるものをシェアして役立ちたい」と、2つの目標達成を目指して取り組んだ。①「水と繊維」で「すべての子供に水と教育を」という目標、②伝統食「すこ」などを活用し「地域文化を未来へ継承する」という目標である。

東ティモールへの水設備支援、パキスタンへの教育支援を通して「水」と「教育」と「ジェンダー問題」はつながっていると感じた。水くみや児童労働・児童婚から解放された子どもたちが生き生きと学校生活を送っている写真を会報で見て、貢献できてうれしいと思った。

「すこスコーン開発」のきっかけとなったのが他校との交流だったため、広く交流することで、斬新なアイデアに触れ、自分たちにもまだまだ出来ることがあるのではないかと感じた。開発の際には卒業生「上田農園」さんと「パナデリア」さんを訪ね、仕入れや製作について丁寧に教えていただき、大変感謝している。

# 03. 継続するためのこれからの工夫

## 自分たちにできることを考え 楽しくSDGs活動を継続したい

これからも世界と地域の問題に注目し、高校生に何ができるか考え、楽しくSDGs活動ができるよう工夫し実践したい。4人の生徒から始まったJRC「結」の活動は、県外や海外との交流へ、内容も海外支援、多世代交流から地域おこし商品開発にまで広がり、3年で部員は17名に増えた。今後もSDGs達成のために他団体と交流し、独自の活動を考えていきたい。

来春、北陸新幹線が福井で開業するので、SNSやメディアを活用して観光客にも「すこスコーン」を宣伝し、「青葉の笛」を紹介するなど豊かな郷土の文化を発信し、大野市を知ってもらう活動を行いたい。

私たちはお年寄りと子どもの「真ん中の世代」で、地元愛に加え、体力、フットワークの軽さ、発想力を持っている。ICTに親しんでおり、情報収集力・発信力を持っている。若さと活動実績をアピールし、ふるさとを元気に、伝統をつなげ、大野の魅力を発信し、地域活性化に貢献したい。

# 活動の略歴

令和元年	5月～	全国高校総体北信越大会おもてなしボランティア
令和3年	7月	
	5月	エコキャップ回収運動開始
	8月	令和3年大雨災害義援金運動
	9月	古着をパキスタンへおすそわけプロジェクト 33着
	10月	七間商店街ハロウィン×子ども虐待防止オレンジリボン運動
	11月	第25回ボランティア・スピリット・アワード 東海北陸コミュニティ賞
	12月	令和3年度青少年赤十字全国スタディープログラムオンライン大会参加
令和4年	2月	FUKUI SDGs AWARDS 2021 鯖江市賞
	3月	ウクライナ人道危機救援 チョコレート・チャリティー
	3月	令和3年度 福井県青少年赤十字リーダー研修会（敦賀市ムゼウム）参加
	4月	ウクライナ人道危機救援 イースター・チャリティー
	5月	福井県青少年赤十字高校生協議会 参加 令和4年度議長・副議長
	5月	第58回名水マラソン 運営ボランティア
	6月	煌奏祭（文化部発表会）ウクライナ人道危機救援 祈りの歌チャリティー
	8月	高校生ボランティア・アワード2022 全国大会出場
	9月	古着をパキスタンへおすそわけプロジェクト 23着
	9月	令和4年大雨災害義、パキスタン地震義援金運動
	10月	大野地区社会福祉協議会 設立20周年記念パネルディスカッション 発表
	10月	七間商店街ハロウィン×子ども虐待防止オレンジリボン運動
	11月	令和4年度福井県善行青少年（団体）知事表彰
	11月	JENESYS高校生オンライン派遣（東ティモール）8日間参加
	12月	第8回全国ユース環境活動発表大会 中部地方大会 優秀賞

# 活動の略歴

- 令和5年
- 1月 FUKUISDGs AWARDS 2021 鯖江市賞・福井テレビ賞
  - 3月 福井県青少年赤十字国際交流の集い 企画・運営
  - 5月 福井県青少年赤十字高校生協議会 参加 令和5年度会長・議長・書記
  - 5月 第59回名水マラソン 運営ボランティア、東ティモール展チャリティー
  - 6月 煌奏祭（文化部発表会）東ティモール展チャリティー
  - 6月 おおのヘルスウォーキングプログラム お年寄りのスマホ操作サポートボランティア
  - 7月 「すこスコーン」開発（上田農園訪問、ベーカリーパナデリア工房にて試作）
  - 9月 日経 高校生SDGsコンテスト2023全国大会 敢闘賞
  - 9月 社会福祉法人 希望園50周年祭ボランティア
  - 10月 「すこスコーン」完成、越前ふくいマルシェにて販売開始
  - 10月 高校生ビジネスプランコンテスト（愛知産業大学杯）「すこスコーン」最優秀賞
  - 10月 古着をパキスタンへおすそわけプロジェクト 56着
  - 10月 七間商店街ハロウィン×子ども虐待防止オレンジリボン運動×あしなが学生募金
  - 10月 第19回地域の伝承文化に学ぶコンテスト「青葉の笛をつなぐ」民話部門（団体）佳作
  - 11月 第2回私のまちの音風景コンテスト（金沢工業大学杯）「山里に鳴る」努力賞
  - 11月 第4回創成アイデアコンテスト B部門 優秀賞（思いやり賞）
  - 11月 第11回環境省グッドライフアワード 実行委員会特別賞（環境と福祉賞）
  - 12月 田舎力甲子園最終プレゼンテーション ファイナリスト